

2012 年 3 月 8 日

外務省・NGO 共同 ODA 過去案件レビューの提案

ODA 改革ネットワーク
「環境・持続社会」研究センター（JACSES）
国際環境 NGO FoE Japan
メコン・ウォッチ

1. レビューの目的

レビューの目的は、過去の ODA 案件をレビューし、PDCA サイクルにおける課題・教訓を明確化することにより、ODA の更なる質の向上を図ること、とする。

2. 実施方法

ODA 政策協議の下に、外務省と NGO が共同レビュータスクフォースを設置する。レビューは 3 段階で実施し、1 段階目は机上分析に基づき総花的にレビューを実施し、共通した問題点を抽出する（外務省は現在行っている ODA あり方検討のフォローアップを引き続き実施。NGO 側も机上分析を実施する）。2 段階目で、机上レビューにおいて明確にならなかった点などをレビューするための共同現地調査を実施する。3 段階目で今後の質の向上のために PDCA サイクルにどう反映するかを検討する。

3. レビュー対象案件の選定方法

机上分析は、ODA あり方検討のフォローアップ等でこれまでに問題を指摘された案件の他、第三者評価が実施された案件を対象とする。対象スキームとしては、技術協力、無償、有償をカバーする。現地調査の案件はフィリピン、インドネシア、メコン、南アジア、アフリカ、中南米など 6～7 件程度。

4. タスクフォースの開催方法

一定の継続的なコミットメントを持たせるため、NGO 側で委員として参加する人を明確にするが、タスクフォースの会合は公開で実施し、誰でも参加できるようにする。

5. 成果物

レビューの結果は報告書にまとめ、幅広く公開するとともに、ODA 政策協議や適正会議等で報告・発表する。報告書のクレジットはタスクフォースとし、タスクフォースメンバーが合意できる分析・提案を記載する。